

平成17年3月期
第1四半期決算説明資料
カブドットコム証券株式会社
平成16年7月22日(木)



カブドットコム証券



カブドットコム証券イメージキャラクター
坪井慶介選手(浦和レッドダイヤモンドズ)

目次

I 平成17年3月期第1四半期決算内容

4. 平成17年3月期第1四半期 決算サマリー
5. 平成17年3月期第1四半期 決算概要
6. 平成17年3月期第1四半期 販管費サマリー
7. 直近四半期毎 決算推移
8. 直近四半期毎 販管費状況
9. コストカバー率(ネット証券比較)
10. 常勤役員1人あたりの経営数値

補助資料

11. 総合口座数と信用口座数
12. 預り資産推移
13. 入出金額推移
14. 1日あたり株式注文および約定
15. 株式差引入庫額-1
16. 株式差引入庫額-2
17. 手数料率と株式1約定当り売買代金
18. 株式シェアの推移
19. 信用建玉残高と金融収支の推移
20. オプション取引シェアの推移
21. 先物取引シェアと建玉残高
22. 信用取引評価損益率
23. 信用取引評価損益率(較差)
24. 口座振替(自動引落)登録件数

II その他実績等

26. 当四半期の取り組み(2004年4月~6月)
27. システム関連の開示-1
28. システム関連の開示-2
29. サポートセンター関連の開示
30. 知的財産関連の開示
31. 当社のガバナンスの特徴-1
32. 当社のガバナンスの特徴-2

I 平成17年3月期第1四半期決算内容

平成17年3月期第1四半期 決算サマリー

- 当四半期決算も過去最高を更新

前年同期比で営業収益2.4倍、経常利益3.5倍

直近四半期比で営業収益1.3倍、経常利益1.8倍

平成17年3月期第1四半期 決算概要

営業収益は前年同期比2.4倍、経常利益は前年同期比3.5倍の大幅増益。

(単位:百万円)

	平成16年3月期 第1四半期	平成17年3月期 第1四半期	前年同期比増減率
営業収益	1,169	2,851	143%
受入手数料	946	2,291	142%
金融収益	223	574	157%
金融費用	170	416	144%
純営業収益	998	2,434	143%
販管費	609	1,044	71%
営業利益	389	1,389	256%
経常利益	384	1,366	255%
税引前利益	346	1,304	277%
当期利益	345	1,303	277%

平成17年3月期第1四半期 販管費サマリー

営業収益が前年同期比約2.4倍となったにもかかわらず販管費は1.7倍に留まる。

(単位:百万円)

		平成16年3月期 第1四半期		平成17年3月期 第1四半期		前年同期比 増減率
			(構成比)		(構成比)	
販管費合計		609		1,044		71%
	取引関係費	264	43%	532	51%	101%
	広告宣伝費	43	—	94	—	—
	その他	221	—	437	—	—
	人件費	82	13%	162	16%	97%
	不動産関係費	137	23%	170	16%	24%
	事務費	65	11%	97	9%	50%
	租税公課	5	1%	9	1%	81%
	減価償却費	51	8%	65	6%	27%
	その他販管費	3	1%	6	1%	79%

直近四半期毎 決算推移

営業収益や経常利益のほか、1日あたり株式約定件数も過去最高を更新中。

(単位:百万円)

	平成16年3月期				平成17年3月期	
	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-3月)	第1四半期 (4月-6月)	直前 四半期比 増減率
営業収益	1,169	1,612	1,693	2,093	2,851	36 %
受入手数料	946	1,331	1,366	1,696	2,291	35 %
金融収益	223	283	329	427	574	34 %
金融費用	170	204	229	311	416	34 %
純営業収益	998	1,408	1,463	1,781	2,434	37 %
販管費	609	674	716	916	1,044	14 %
営業利益	389	733	747	865	1,389	61 %
経常利益	384	716	737	739	1,366	85 %
税引前利益	346	508	698	684	1,304	91 %
四半期(当期)利益	345	508	698	1,485	1,303	-12 %
委託手数料/販管费率	151 %	192 %	185 %	180 %	213 %	18 %
1日あたり株式約定件数	11,525	15,412	15,736	21,015	27,403	30 %
(参考) 3市場株式個人委託 1日あたり約定金額	2,375億円	4,421億円	4,670億円	5,413億円	6,847億円	26 %

直近四半期毎 販管費状況

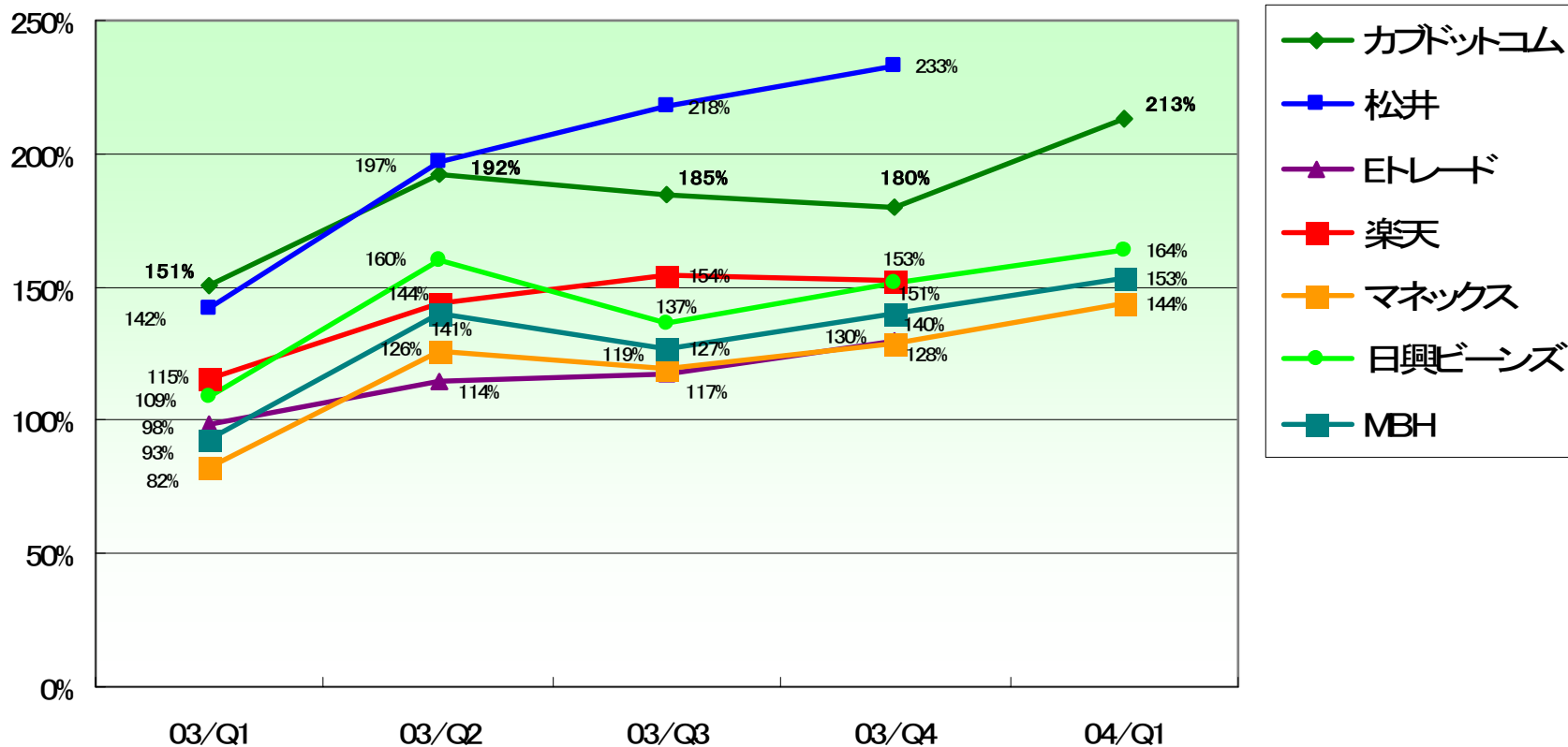
営業収益は直近四半期比1.3倍であるが販管費は1.1倍に留まる。

(単位:百万円)

		平成16年3月期				平成17年3月期	
		第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-4月)	第1四半期 (4月-6月)	直前 四半期比 増減率
販管費合計		609	674	716	916	1,044	14%
	取引関係費	264	291	360	446	532	19%
	広告宣伝費	43	28	71	123	94	-23%
	その他	221	262	289	322	437	35%
	人件費	82	100	85	156	162	4%
	不動産関係費	137	148	150	147	170	16%
	事務費	65	68	51	73	97	33%
	租税公課	5	6	6	7	9	27%
	減価償却費	51	53	55	59	65	11%
	その他販管費	3	6	5	25	6	10%

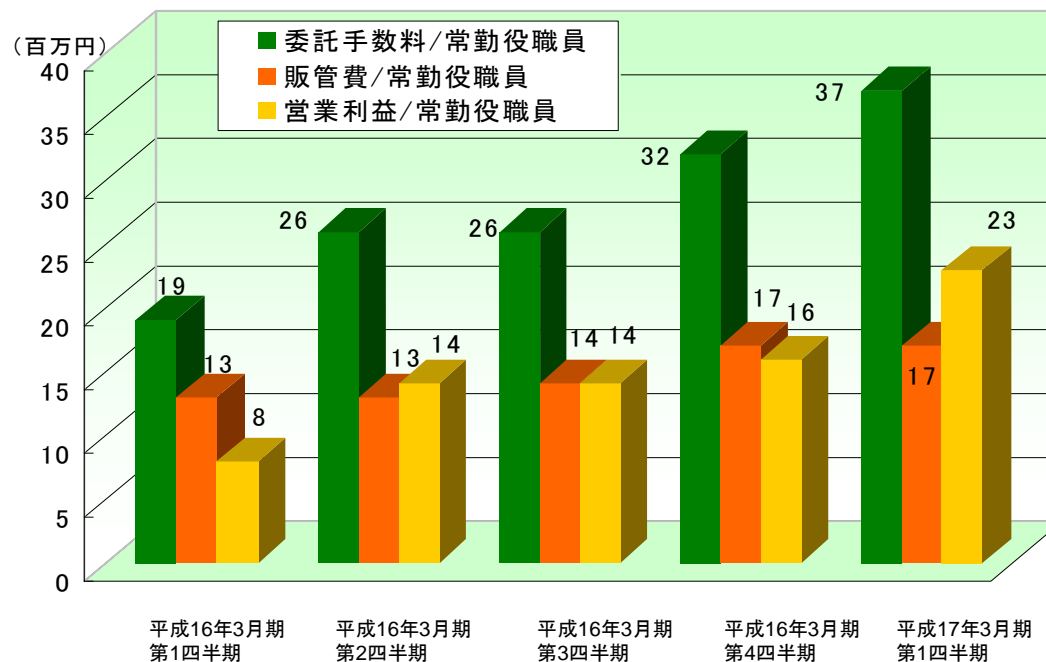
コストカバー率（ネット証券比較）

委託手数料／販管費にて算出したコストカバー率で高水準を維持。



常勤役職員1人あたりの経営数値

当四半期で1人あたり委託手数料は3,700万円を突破、また同営業利益も約2,300万円を突破、年換算で1億円に迫る屈指の経営数値を記録。

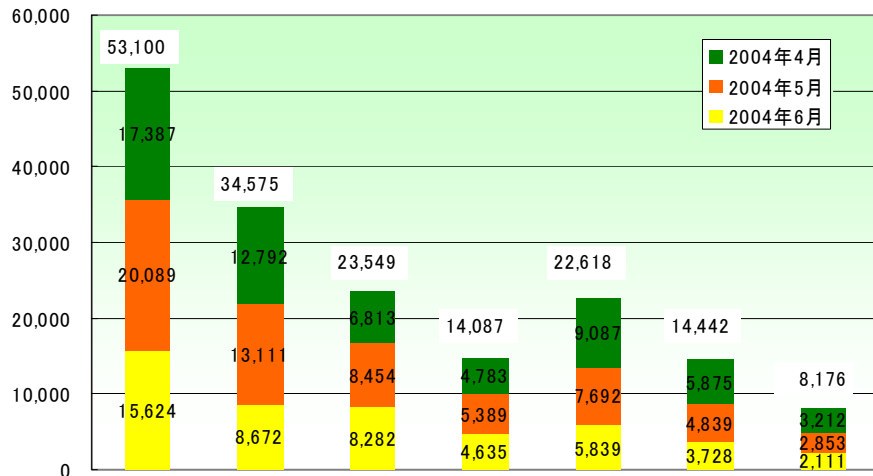


常勤役職員数 (派遣社員を含む)	46	49	50	51	59
---------------------	----	----	----	----	----

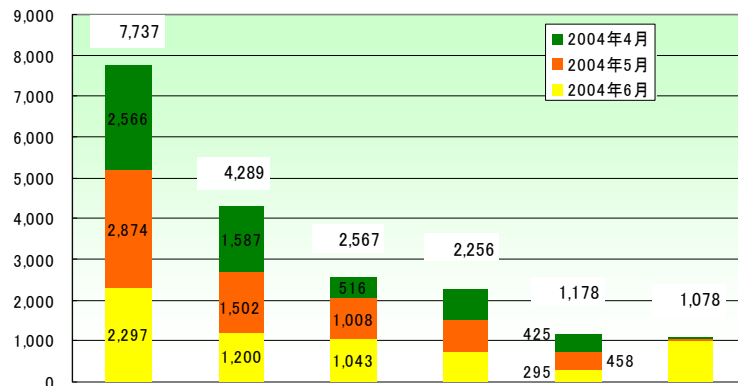
(補助資料) 総合口座数と信用口座数

口座数増加ペースが加速、16万口座を突破。また、同様に信用口座も1万6千口座を突破。なお、当四半期のカブドットコム口座増加数は総合口座、信用口座共にマネックス+日興ビーンズを上回った。

04/Q1総合口座増加数推移



04/Q1信用口座増加数推移



	ETレード	松井	カブドットコム	楽天	MBH	マネックス	日興ビーンズ
2004年6月	15,624	8,672	8,282	4,635	5,839	3,728	2,111
2004年5月	20,089	13,111	8,454	5,389	7,692	4,839	2,853
2004年4月	17,387	12,792	6,813	4,783	9,087	5,875	3,212
合計	53,100	34,575	23,549	14,807	22,618	14,442	8,176

	ETレード	松井	カブドットコム	MBH	マネックス	日興ビーンズ
2004年6月	2,297	1,200	1,043	-	295	-
2004年5月	2,874	1,502	1,008	-	458	-
2004年4月	2,566	1,587	516	-	425	-
合計	7,737	4,289	2,567	2,256	1,178	1,078

※1 各社ホームページ掲載資料より集計

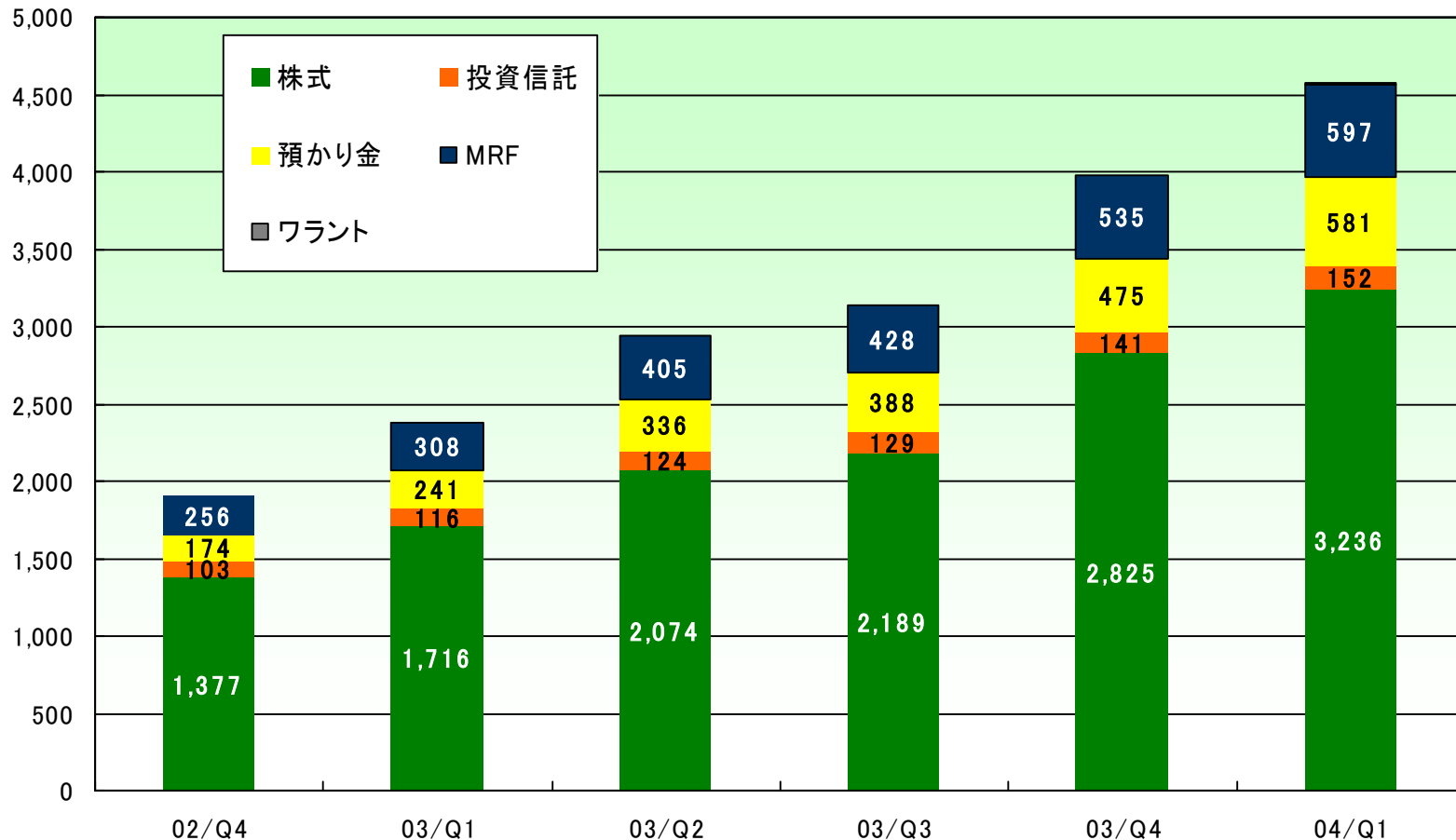
※2 日興ビーンズは信用口座数非公開のため、MBH及びマネックス掲載資料より換算

※3 MBHはマネックスと日興ビーンズの数単純合算(重複等加味せず)

(補助資料) 預り資産推移

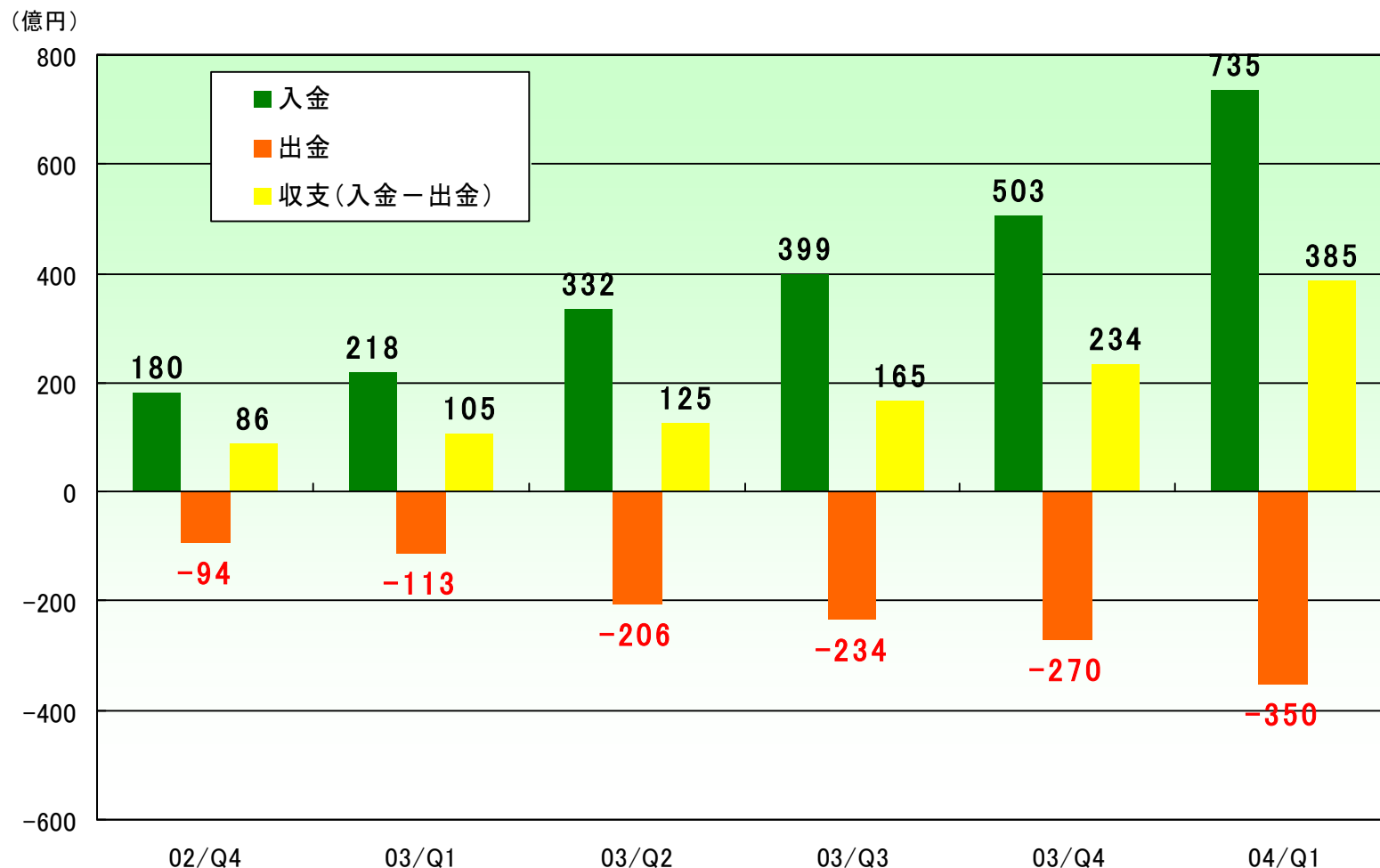
預り資産は4,000億円を超え、前年同期比約2倍を達成。

(億円)



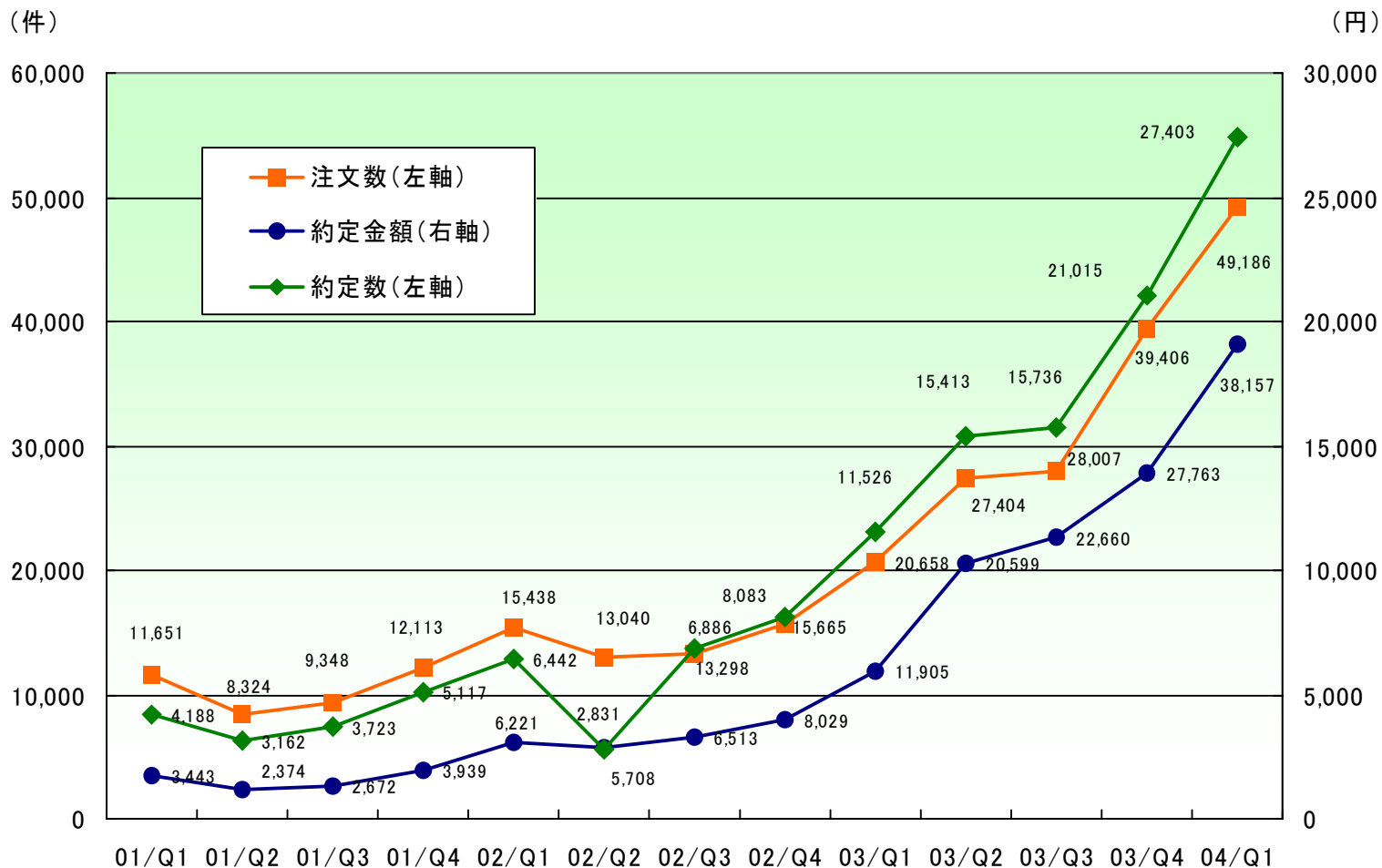
(補助資料) 入出金額推移

収支は5四半期連続の増加、当四半期では400億円に迫る。



(補助資料) 1日あたり株式注文及び約定

1年前と比べ注文数／約定数は2.3倍、約定金額は3.2倍に拡大。



(補助資料) 株式差引入庫額－1

過去最高の合計120億円を超える差引入庫額。特に、大手証券会社からの入庫および
タンス株の入庫が大きく増加している。

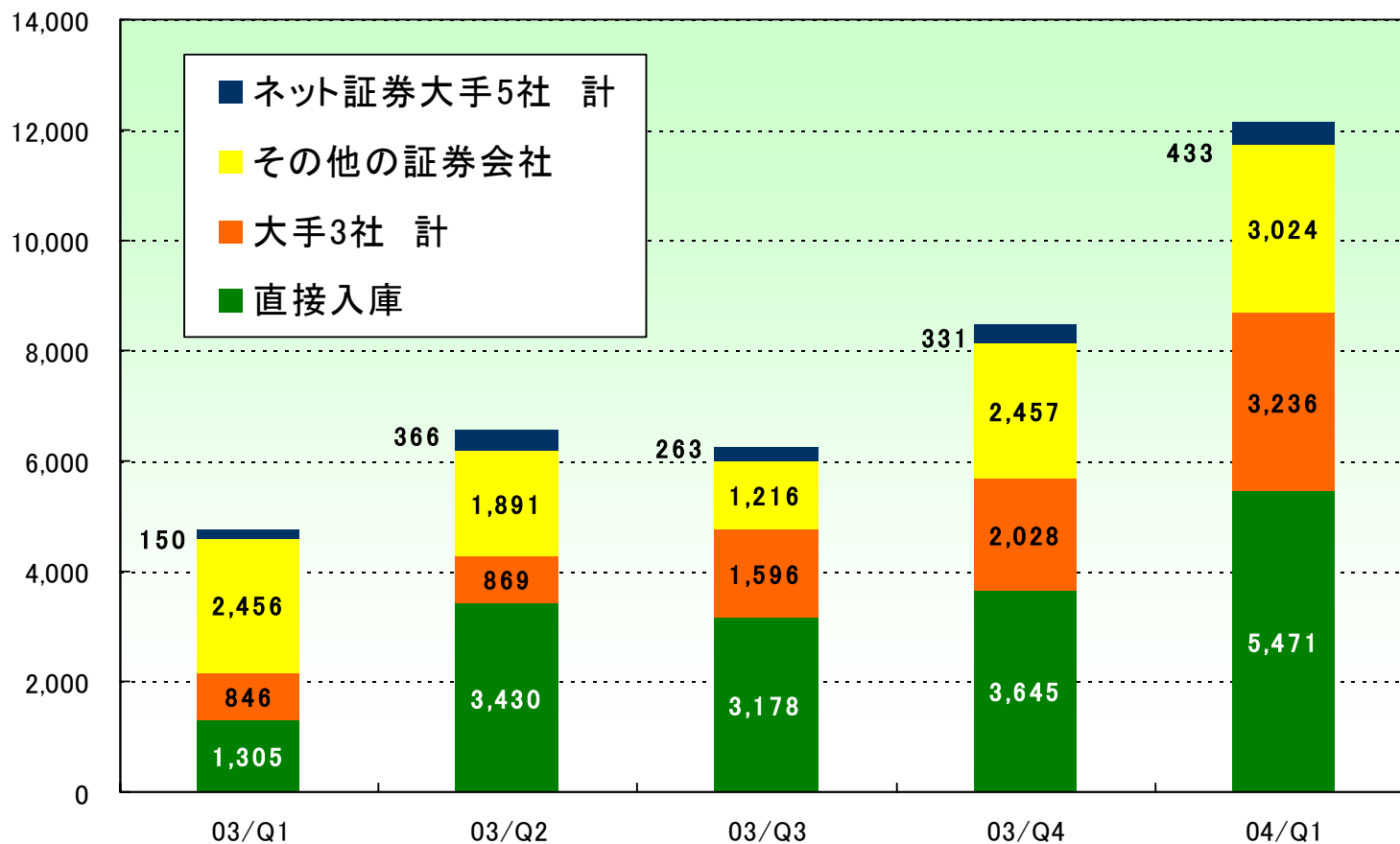
(単位:百万円)

	03/Q1	03/Q2	03/Q3	03/Q4	04/Q1	直前四半期比 増減率	前年四半期比 増減率
A証券	75	57	4	175	310	—	—
B証券	44	73	-58	-214	-205	—	—
C証券	54	157	234	117	237	—	—
D証券	48	59	7	136	-11	—	—
E証券	-71	20	75	117	102	—	—
ネット専業5社 計①	150	366	263	331	433	31%	189%
X証券	476	427	472	951	1,797	—	—
Y証券	230	278	608	811	995	—	—
Z証券	139	164	517	267	443	—	—
大手3社 計②	846	869	1,596	2,028	3,236	60%	283%
その他証券会社③	2,456	1,891	1,216	2,457	3,024	23%	23%
振替差引入庫額①+②+③	3,452	3,127	3,075	4,817	6,693	39%	94%
直接入庫額④	1,305	3,430	3,178	3,645	5,471	50%	319%
合計 (①+②+③+④)	4,757	6,556	6,253	8,462	12,164	44%	156%

※ 当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

(補助資料) 株式差引入庫額-2

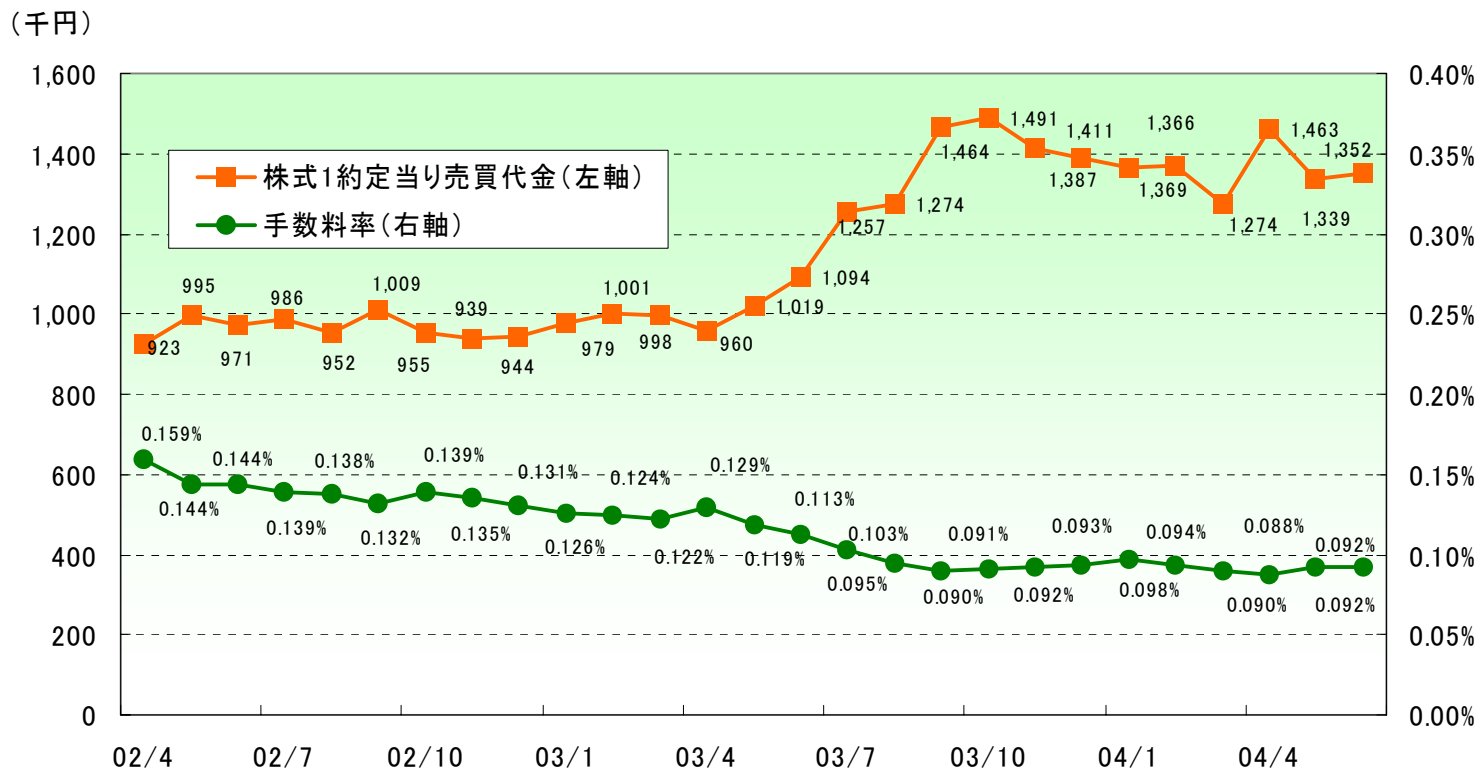
(百万円)



※ 当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

(補助資料) 手数料率と株式1約定当り売買代金

手数料率は0.1%程度と業界最低水準。4月より最低手数料を引き下げ、小口取引についても安価な手数料体系を提供。

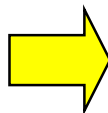
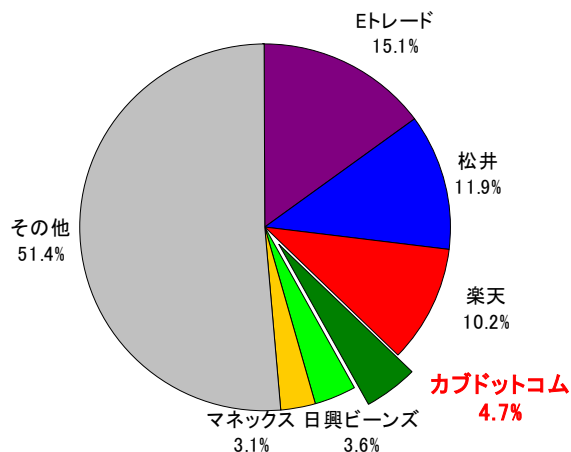


(補助資料) 株式シェアの推移

ネット証券各社の株式シェア推移 (東京証券取引所、ジャスダック及び各社HP公表数値より当社計算)

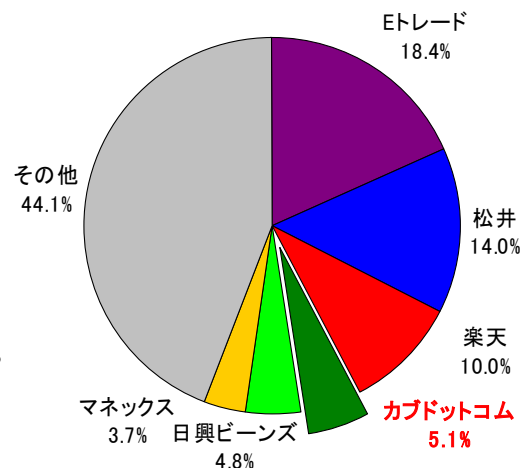
3市場+ジャスダック市場(店頭)の個人委託金額に対する
ネット証券大手6社の約定金額の比率

03/Q1



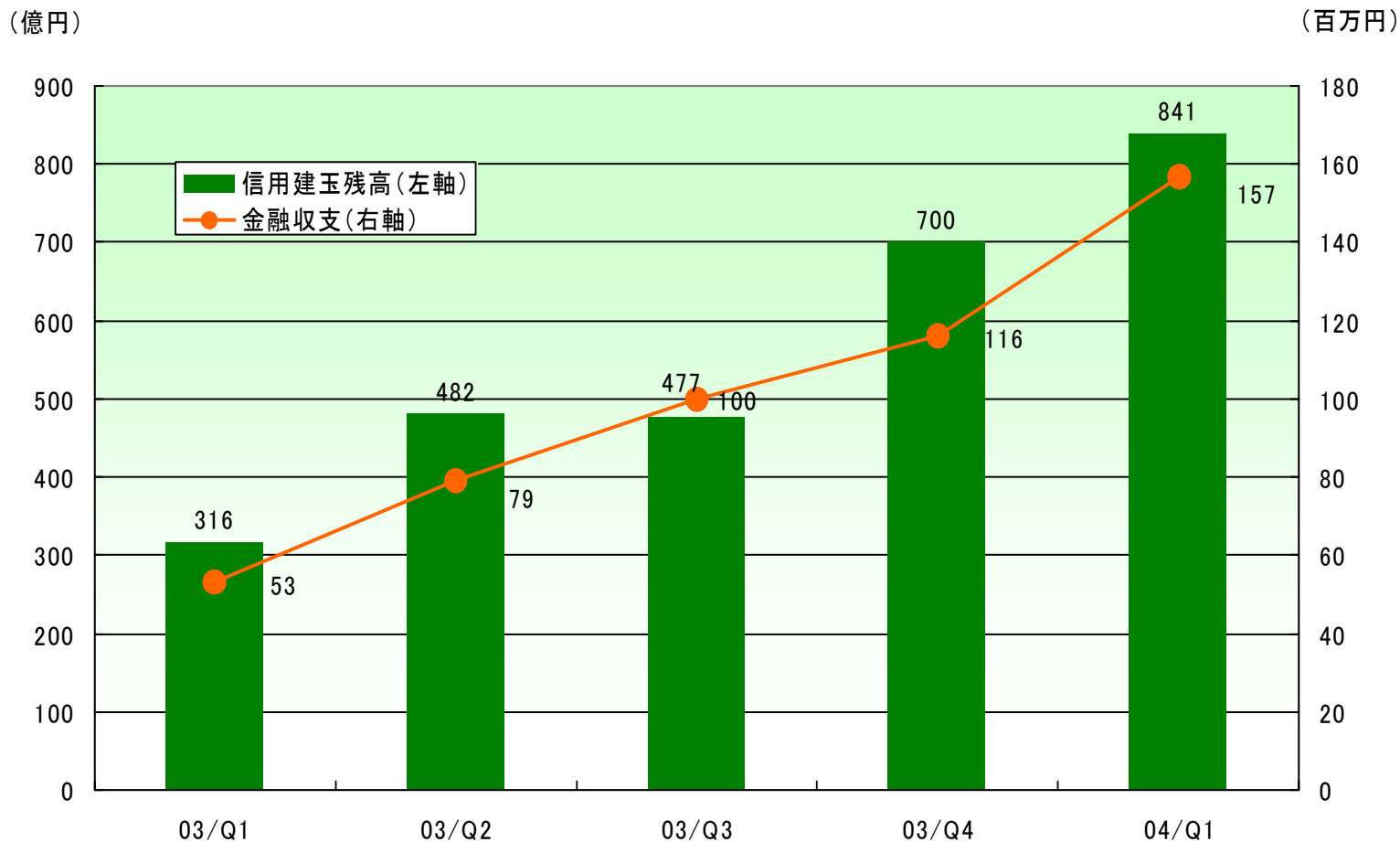
1年で49%から56%へ増加。
ネット証券6社の寡占が進む。

04/Q1



(補助資料) 信用建玉残高と金融収支の推移

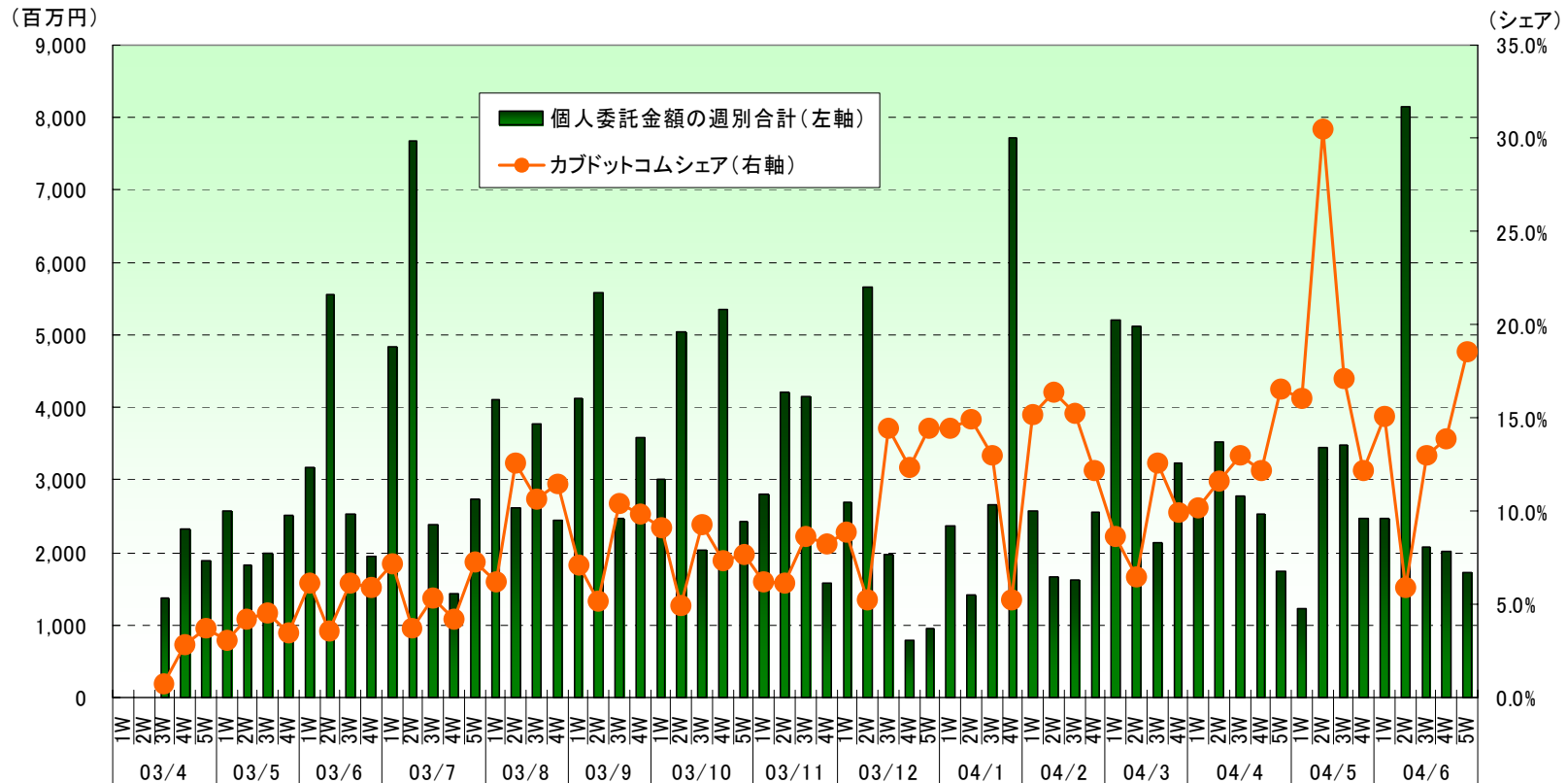
信用建玉残高は前年同期比2.6倍強に拡大、金融収支は前年同期比3倍の1億5,700万円を突破。



(補助資料) オプション取引シェアの推移

サービス開始から1年。競業他社が参入しても安定したシェアを獲得している。

日経225オプション個人委託金額の週別合計金額と当社のシェア



※1 大阪証券取引所公表数値より当社計算

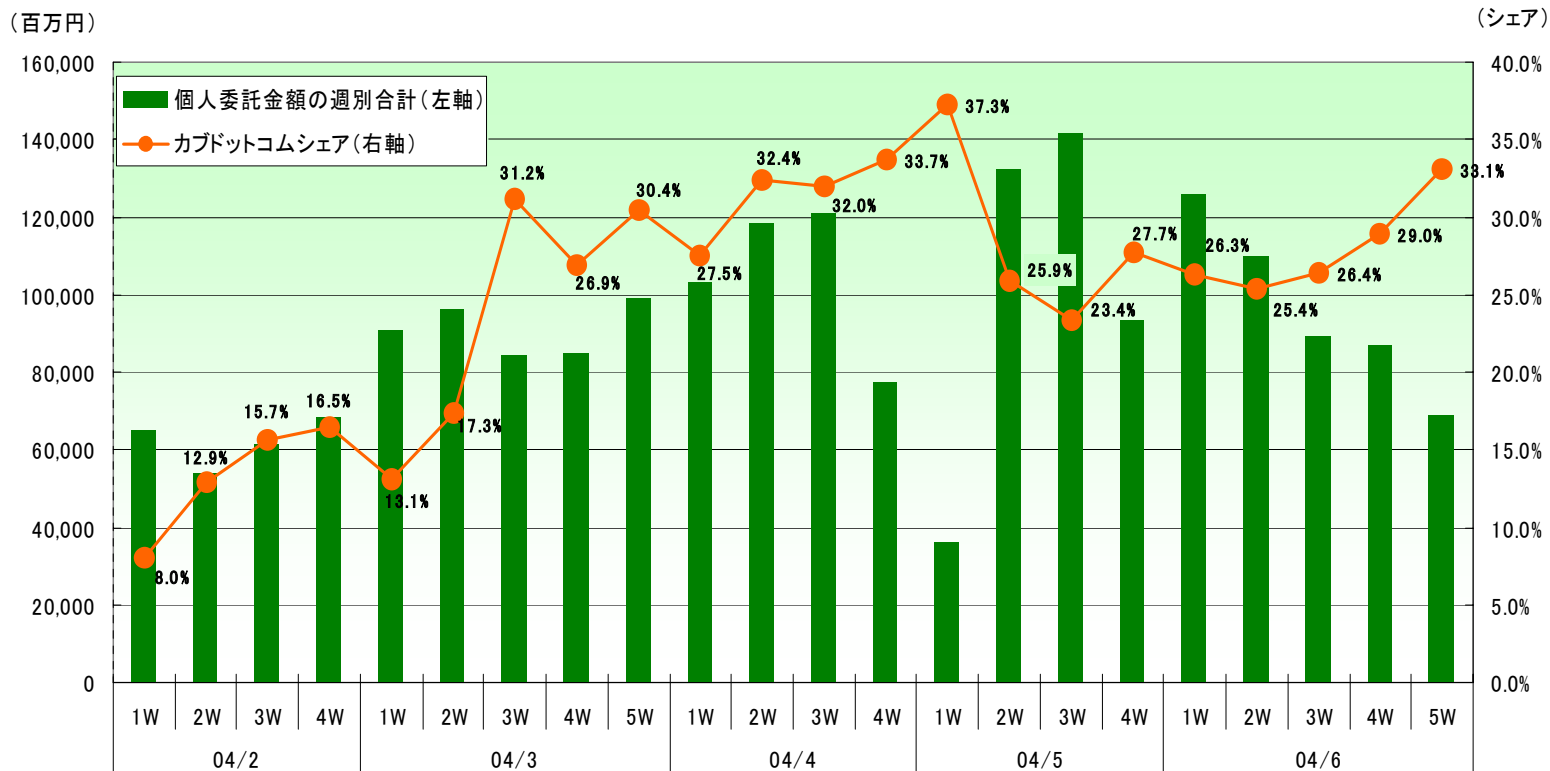
※2 当社シェアは次の数式にて算出

$$\text{当社シェア} = \frac{\text{当社約定金額}}{\text{個人委託約定金額(資本金30億円以上の取引参加者)} + \text{当社約定金額}}$$

(補助資料) 先物取引シェアと建玉残高

サービス開始から半年。既に30%程度の安定したシェアを獲得。

日経225先物個人委託金額の週別合計と当社のシェア



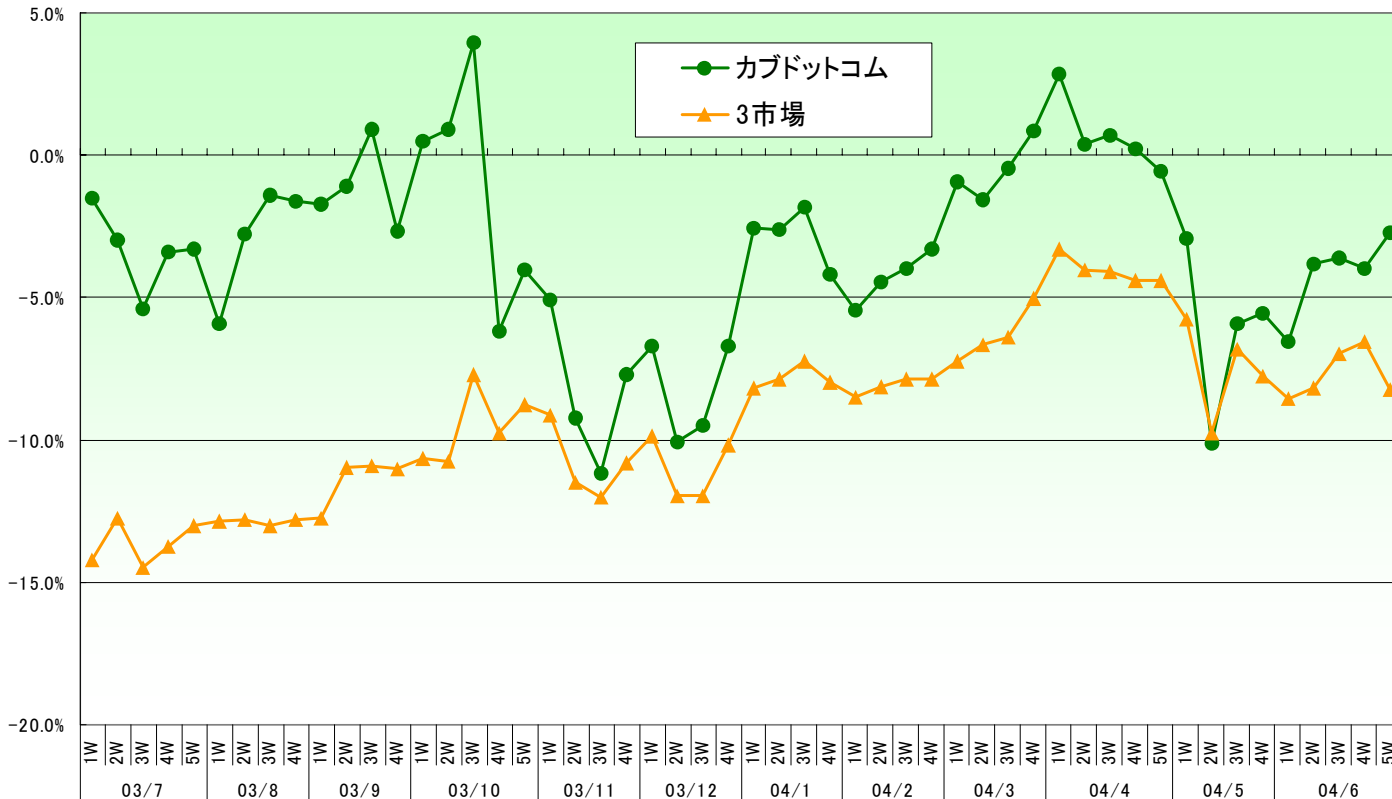
※1 大阪証券取引所公表数値より当社計算

※2 当社シェアは次の数式にて算出

$$\text{当社シェア} = \frac{\text{当社約定金額}}{\text{個人委託約定金額(資本金30億円以上の取引参加者)} + \text{当社約定金額}}$$

(補助資料) 信用取引評価損益率

当社顧客の評価率は、引き続き3市場平均を上回り続け、足元格差は拡大中。

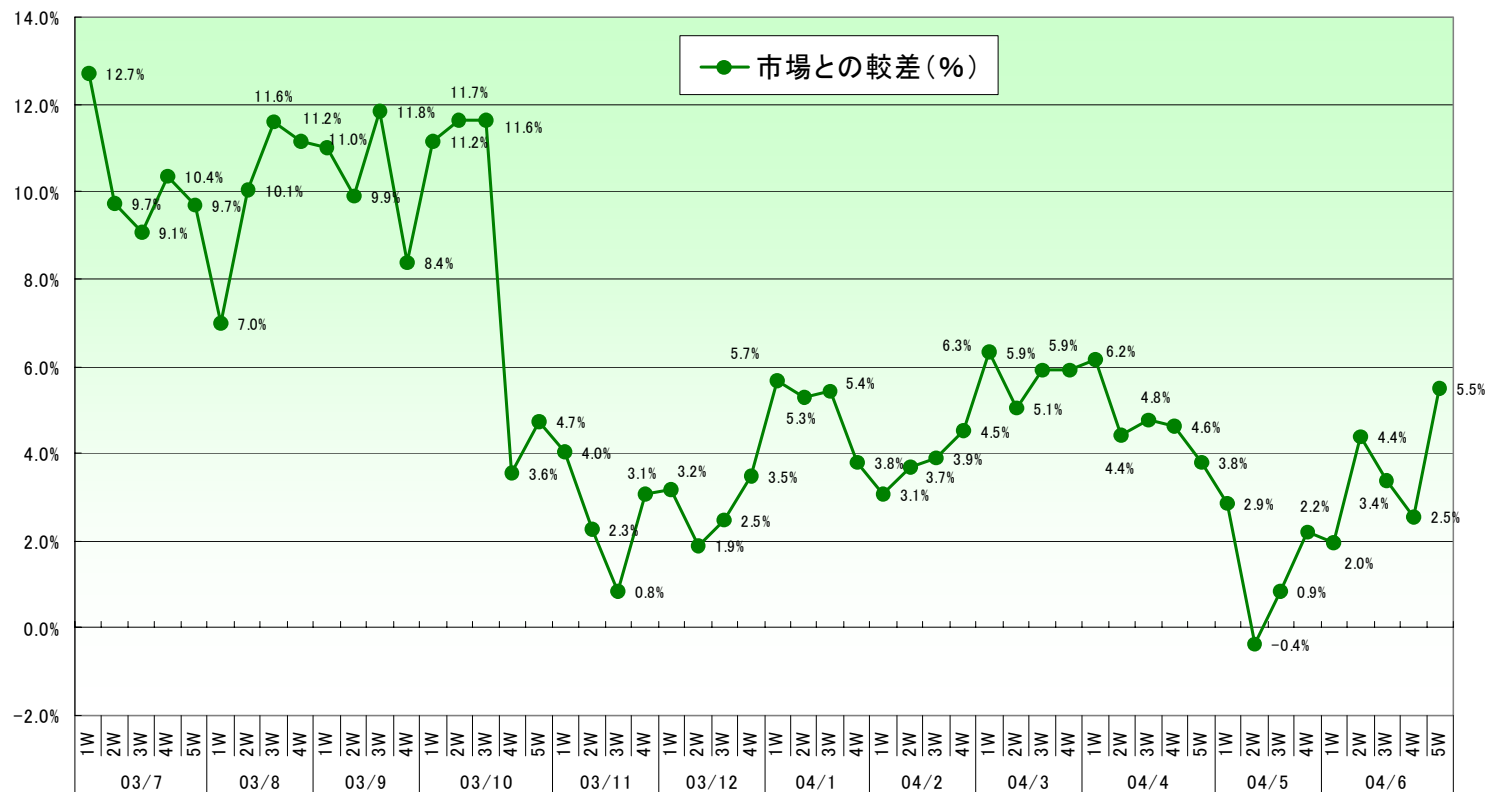


※1 東京証券取引所公表数値より当社計算

※2 3市場、当社ともに信用残高全体に対する信用取引評価損益率

(補助資料) 信用取引評価損益率(較差)

当社顧客の評価率は、3市場平均との較差においてプラスで推移。

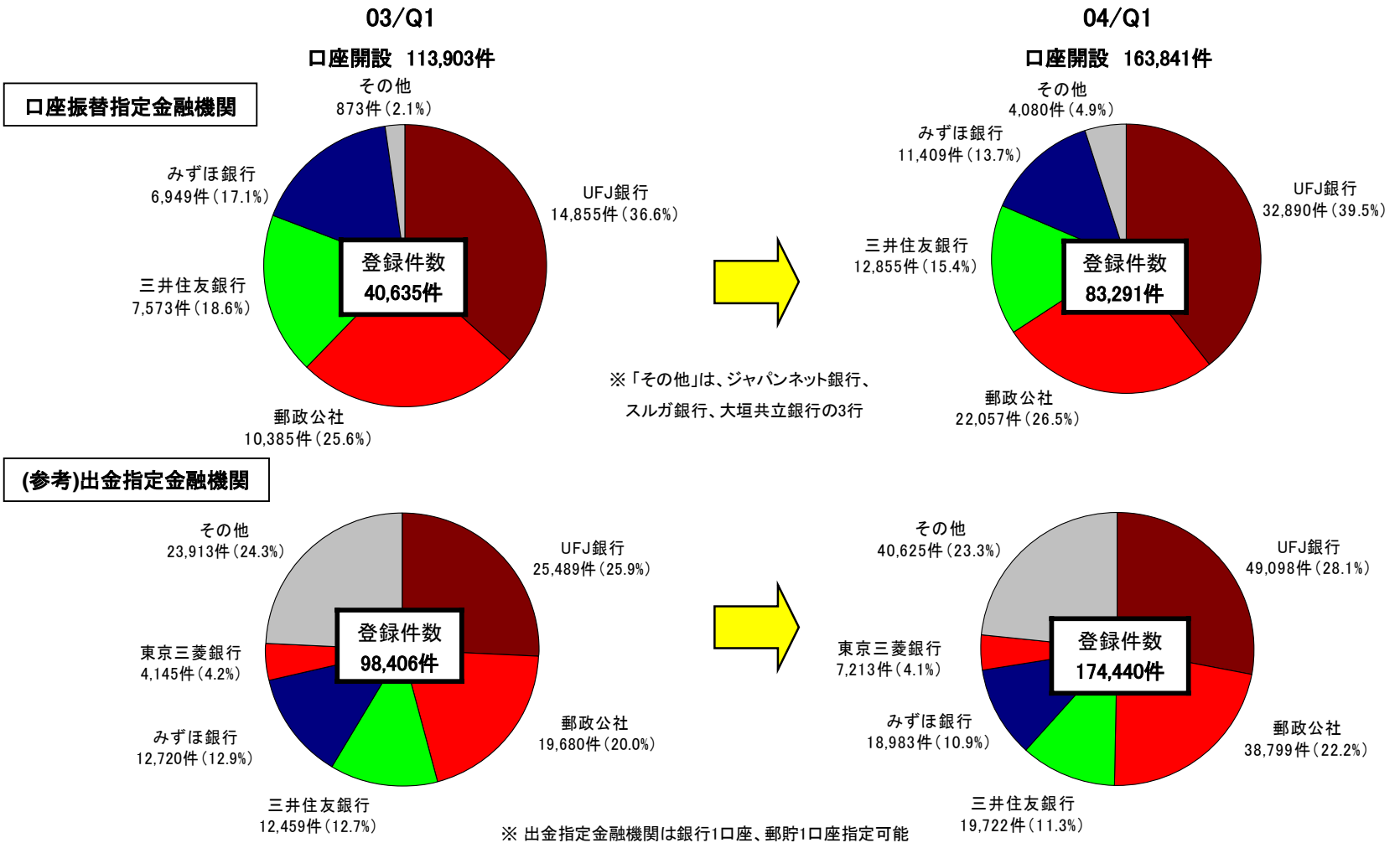


※1 東京証券取引所公表数値より当社計算

※2 グラフは3市場平均とカブドットコム証券との信用取引評価損益率の較差を表したもの

(補助資料) 口座振替(自動引落)登録件数

口座振替登録者数は前年同期比の約2倍、口座開設者の約半数に拡大。



Ⅱ その他実績等

当四半期の取り組み(2004年4月～6月)

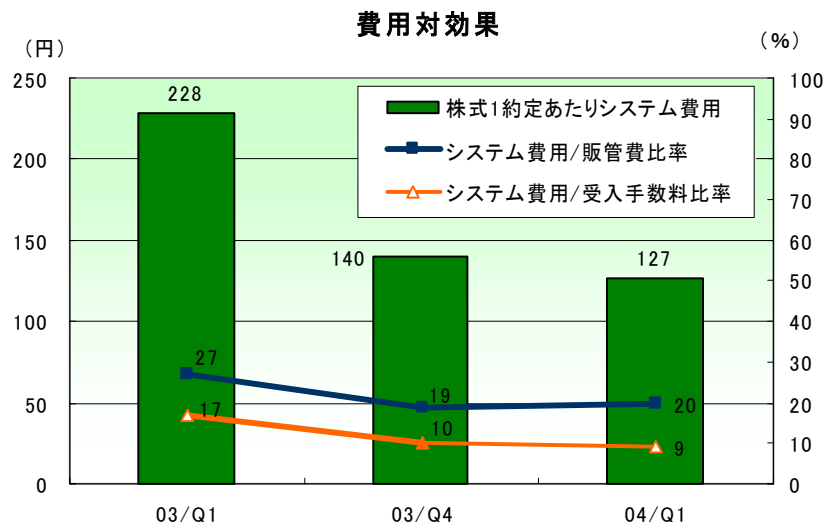
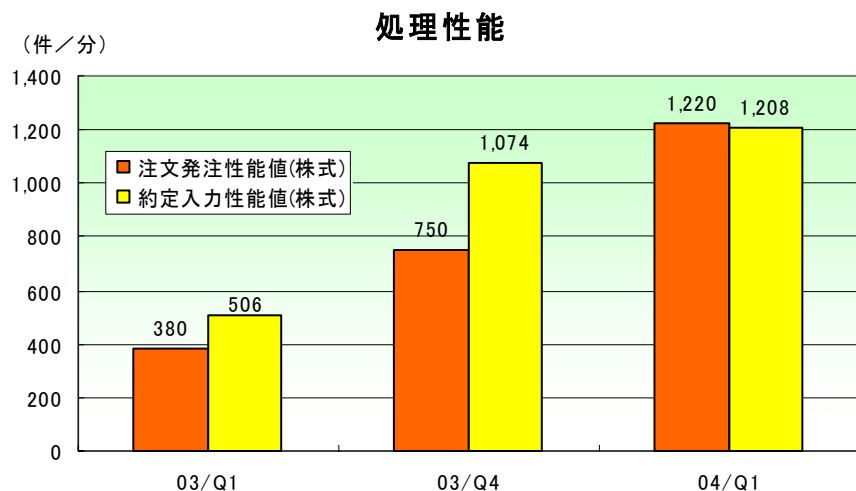
当社はより品質の高いサービス提供を目指し、お客様への様々な新しい投資スタイルの提案を行っております。

	新サービス	機能拡充	取得・受賞・その他
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・現物株式新手数料体系の一部変更(約定代金20万円以下は500円～、約定代金1万円以下は無料に。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CTIサーバ増強(オペレータ回線約2倍) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡で「株スクール」開催 ・東京で「株スクール for ビギナー」開催
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・株価指数オプション取引の手数料を業界最低水準に値下げ(約定代金の0.84%→0.63% 最低630円に。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用取引口座開設WEB自動審査開始 ・取引新システム導入完了(3倍強パフォーマンスと発注経路二重化等) ・預り資産状況推移画面を追加(1ヶ月間の資産の日々推移、預り資産目標達成通知サービス等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ISMS適合性評価制度(Ver2.0)」と「BS7799-2:2002」の認証を同時取得
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡証券取引所単独上場銘柄の取り扱い開始 ・リスク管理追求型「一般信用取引」取り扱い開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動売買機能の強化として、制限値幅自動値段調整機能を追加 ・kabuマシーン™ 専用のアプリケーションサーバを追加増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会等設置会社へ移行 ・金融業界初、知的財産報告書を公表 ・Gomez Japan 2004年夏期オンライン証券ランキング 2位受賞 ・リックテレコム コンタクトセンターアワード2004 銅賞 受賞

システム関連の開示ー1

システムの処理性能及び費用対効果の実績について

2003年12月～2004年5月までに実施した大規模システム設備増強により、処理性能は前年同期比で約3倍となった。一方費用対効果について、システム費用は、営業収益増加よりも低い水準で増加しているため、特に株式の1約定あたりのシステム費用で改善した。



システム関連の開示ー2

主な設備増強対策とシステム不備(4月～6月)

・主な設備増強対策

日付	増強内容
2004/04/01	CTIサーバ全面リプレイス(オペレータ回線を2倍へ増強)
2004/05/15	注文データベース増強(CPU数を2倍に、4倍のキャパシティ確保)
2004/05/16	株式発注システムを冗長構成化 (取引所直結システムと他証券会社経由の発注取次証券システムとの二重化構成)
2004/05/29	バックオフィスサーバ増強(CPU数を2倍に増強)
2004/06/28	kabuマシン™用サーバ(Web/アプリケーション)を専用ハードウェアで再構築

・主なシステム不備とその対策

日付	システム不備内容	
2004/05/18	9:00～9:30一部の株式注文について約定処理エラーが発生し、約定反映が遅延した(11:30復旧)。	
	原因	一部のアプリサーバの注文約定入力プログラム不備
	詳細	新規に構築した銘柄規制システムと約定システムとの連携において、想定よりも多い銘柄数が登録され、プログラム上の想定していた領域を越え、プログラムが異常終了した。またリカバリツールの処理に時間がかかった影響で、後続の約定入力が約定プログラムの再起動待ちの状態となり、大幅な約定遅延につながった。
	対策	約定プログラムのメモリ割り当て方式を見直し当日中にプログラム修正、対処した。
	抜本的対策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害リカバリツールを改良しリカバリ処理速度を高速化(従来比約10倍)。 ・同エラー発生を想定しリカバリツールについて負荷/ラッシュテストを実施。

サポートセンター関連の開示

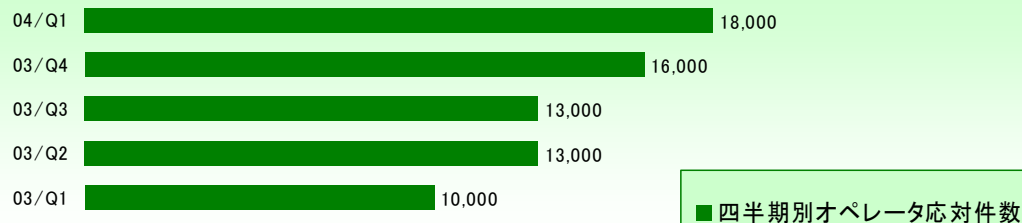
前年同四半期～当四半期サポートセンター入電対応状況

以下の3つの主要因にてオペレーター対応件数を効率よく増加

- ①信用取引、先物・オプション取引口座開設電話面接をWEB自動審査へ移行
- ②オペレーター人員増強・対応品質教育強化
- ③CTI増強 オペレーター回線を従来比2倍に

◆前年同四半期比約1.8倍(約8,000件増)となった。

四半期別オペレータ対応件数(1ヶ月平均)



(TOPICS)お客様サポートセンター表彰

6/27 「コンタクトセンター・アワード2004・Center of Excellence/マネージメント部門 銅賞」受賞

(株)リックテレコムが主催する、平成16年度第1回「コンタクトセンター・アワード2004」のマネージメント部門において「銅賞」を、受賞しました。同部門の受賞は証券業界では唯一の受賞となります。

「マネージメント部門」受賞会社

- 「金賞」 オムロンフィールドエンジニアリング
- 「銀賞」 損保ジャパン・ホットライン
- 「銅賞」 カブドットコム証券

・主な参加企業(50音順)

- あいおい損害保険(株) アイフル(株) ANAテレマート(株)
- アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc
- (株)オーエムシーカード グラクソ・スミスクライン(株)
- ケーブルアンドワイヤレスIDC(株) (株)コスモスライフ
- ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) トレンドマイクロ(株)
- (株)パッファロー (株)ファンケル 日本アイ・ビー・エム(株)
- 日本航空(株) 松井証券(株) 三井住友カード(株)

知的財産関連の開示

「リスク管理追求型取引™」サービスの開発とコーポレートブランドの育成を目指します。

当四半期(2004年4月～6月)の活動内容

04/Q1	4月	「kabu.studio®」(カブスタジオ)商標登録(登録商標第4760981号)
	4月	カブマシーン®関連特許出願
	6月	SLA関連特許出願
	6月	『知的財産報告書』※1公開(金融業界で初)

前四半期(2004年1月～3月)の活動内容

03/Q4	3月	自動売買システム関連特許出願
	3月	「リスク管理追求型取引™」商標出願(商願2004-18787)
	3月	「カブマシーン®」商標登録(登録商標第4753309号)
	3月	「ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価制度(Ver.2.0)」、「BS7799-2:2002」※2を同時取得

2004年3月末までに、出願公開特許8件(ネット証券最多)、商標登録15件の実績

※1 『知的財産報告書』

企業が自社の有する技術やブランドなどの知的財産に関する情報を開示する報告書。当社は、年1回ホームページ上にて公開致します。また、経済産業省の指針に準拠した形式で作成しております。

※2 ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価制度(Ver.2.0)、「BS7799-2:2002」

情報セキュリティ管理の標準規格。秘密管理体制の整備による知的財産権情報の保護を図ります。

当社のガバナンスの特徴－1

当四半期、当社は「委員会等設置会社」へ移行

- 経営監視と業務執行の分離や、社外取締役の活用が特徴
- 日々の業務執行を担当「執行役」、会社を代表する「代表執行役」、取締役は経営の監督を担う
⇒ 経営の迅速化や、社外取締役^(※)の活用による経営の透明性の向上が期待

※ 当社の取締役は8名中7名が社外取締役であり、その陣容はBank of America Managing Director、公認会計士/システム監査技術者、弁護士を含む多彩な人材により構成されております。

当社のコーポレート・ガバナンスの歩み

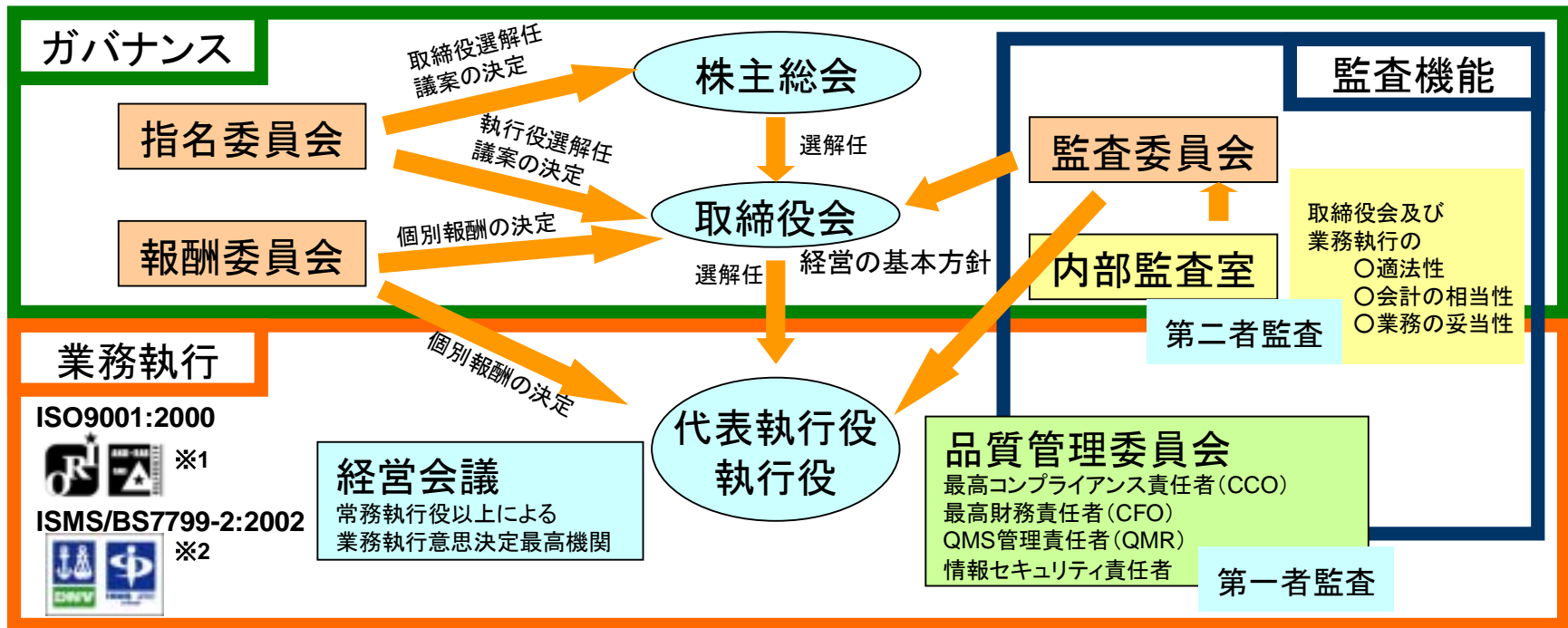
2001年 4月	「経営監督と業務執行の分離」がコーポレートガバナンスの効果的な実施に必要と考え、合併当初から執行役員制度を導入
2002年12月	委員会等設置会社への移行を視野に入れ、「指名・報酬委員会」、「業務監査委員会」を設置
2003年11月	「指名・報酬委員会」「業務監査委員会」によるコーポレート・ガバナンス体制を約1年に渡って試行した結果、経営の効率性及び実効性を確認、臨時株主総会にて「委員会等設置会社」への移行を決議
2004年 6月	本年度の株式公開(予定)や今後の証券仲介業ビジネスへの本格的参入を視野に入れ、より一層のコーポレート・ガバナンスの強化を図った会社運営体制とするため、「委員会等設置会社」へ正式に移行

当社のガバナンスの特徴-2

株主利益の極大化を図る

Plan Do Check Action

による経営管理モデル



※1 2003年6月 国内ネット証券では初めて、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001(2000年版)の認証を取得

※2 2004年5月 国内証券会社では初めて、情報セキュリティ管理の標準規格であるISMS適合性評価制度(Ver2.0)と、同じく情報セキュリティ管理の国際規格であるBS7799-2(2002年版)の認証を同時に取得



カブドットコム証券株式会社

カブドットコム証券は、伊藤忠商事・UFJ銀行などが出資するネット専門の証券会社です。